

河村光陽童謡ファイル④

♪グッドバイ

幼 児の日常と同じ目線から歌った「グッドバイ」(作詞・佐藤義美)。リズムカルで明快な光陽の旋律は、幼い子どもが口ずさみ、親しみやすい名曲として発表当初の昭和9年から今日まで愛唱されています。町で開かれるコンサートでは、ラストを飾ることの多い曲です。また、福智町では朝7時、正午、夕方6時に、鐘やサイレンではなく、和やかなミュージックチャイムで時のおとずれを知らせています。季節によって選曲され「グッドバイ」のほか「うれしいひなまつり」「かもめの水兵さん」「赤い帽子白い帽子」「仲よし小みち」「早起き時計」など、光陽が残した豊かな旋律が、町のすみずみまで流れています。



←ラストで「グッドバイ」を合唱した福智初開催の「ふれコン」。



童謡に親しむだけでなく、本格的な音楽に触れる機会も積極的に展開。【写真上から】3月6日に開かれた福智町音楽祭の「クラシックコンサート」。町内団体が出演する「ふれあいコンサート」。N響メンバーによる「音楽世界一周の旅」。赤池支所での「日フィルコンサート」。



2月27日に開催された福智町音楽祭の童謡コンサート。およそ300人の親子連れが優しい旋律に触れ、会場の同和対策研修センターは子どもたちの笑顔に包まれた。

町を興し心に灯をともし童謡

この町には歌がある

受け継ぐ心

河村光陽の「童謡一路」の足跡を刻む福智町。彼が愛した故郷では、その精神が受け継がれ「童謡の町」としての歩みが着実に進められています。童謡が口から口へ伝わっていくように、童謡や音楽の町づくりの想いが心から心へ伝わっていくことを願って、今日まで取り組みが重ねられています。

再建の希望

旧赤池町が「童謡の町」を宣言したのは、昭和63年。炭鉱の閉山で人口が半減し、のちに財政再建団体の指定を余儀なくされるほど財政的にも厳しくなる中、希望をもたらし、住民が一つになれる地域資源として将来を託したのが河村光陽の「童謡」でした。閉塞感が漂う倒産した町を励まし続けた「河村童謡」と「童謡まつり」。その取り組みは、福智町となった今でも「福智町音楽祭」として受け継がれ「うれしいひなまつり」にちなんで3月3日の前後に開催されています。



↑3年前から福智町音楽祭にゲスト出演している「やべせいこ」と「そがみまこ」の童謡デュオ「DOYO組」。国内外に童謡を広げようと平成16年に誕生し、現在は全国公演をはじめ、テレビやラジオで活躍中。

また、福智町文化祭では「ふれあいコンサート」が毎年開催され、町内で活動するコーラスグループが歌声を披露。新たな出演団体も誕生しています。「童謡の町」として長年取り組んできた土壌は、新しい町でも脈々とつながっています。

風土の醸成

心のふるさと童謡。そのメロディーを口ずさむ時、幼かったころの情景が浮かんでいきます。童謡には優しさ、温かさ、清らかさなど、小さな自然や命をいたわり、親子の愛を育むといった、生きていく上での大切な心が込められています。そして、わたしたちに安らぎや癒しのひと時を与えてくれます。ミュージックチャイムなどで光陽の旋律が絶えることのない福智町。音楽の持つ魅力やその力を生かせる風土は、この町にとつてのかけがえのないもの。音楽が心に灯りをじんわりともしていくように、童謡の町づくりの取り組みは、長い時を経て醸成されています。

かつて倒産した灰色の町は、童謡という彩りを希望に、再建を果たしました。そして誕生後5年を経た福智町でも想いが継がれ、輪となり、歌声と共に町の風土として、とけ込み始めています。

インタビュー Interview

童謡のまちへの想い

毎

回約1千曲が寄せられた創作曲コンクールや町民ミュージカルなどで再建団体の暗い雰囲気も払拭した童謡まつり。官民一体の取り組みが互いの意識を変えました。文化的イメージの効果もあり、人口も微増。想いやエネルギーがあればお金がなくても成功するのだと実感しました。今後も子どもたちが故郷の誇りを自ら発見できるような事業に、みなさんと取り組みたいと思います。



長年童謡まつりに携わり福智町音楽祭を企画した 辻村哲弥 課長

昭

和63年に開催された第1回童謡まつりで、光陽先生の長女・順子さんと一緒に「りんこのひとりごと」を歌うことができたのを懐かしく感じます。その時に順子さんから「これからも父の童謡を歌い継いでください」というお言葉をいただきました。以来、ベル・アルモニア赤池では、施設などを訪問した際に、必ず光陽先生の童謡を紹介し、みなさんと合唱しています。童謡の素朴なメロディーや歌詞は、人の心をはぐくむもの。学校で習う童謡の数が減少する中、大人がもっと童謡を歌い継ぎ、守っていく必要があるのではないのでしょうか。

練習▼ 20時〜22時(中央公民館) 岡波多洋子代表 ☎2813134

↓地域に外向き歌声を届けるメンバー



童謡まつりと共に歩んできた「ベル・アルモニア赤池」指導者 中津川裕子さん

特集 協奏 想いが奏でるシンフォニー

